

令和4年度

# 決算の概要

(公共下水道事業会計部分抜粋)



綾瀬市

# ◆ 公共下水道事業会計

## 1 決算の状況

(予算区分ごとの消費税込みの決算額)

### (1) 収益的収入及び支出

#### 収益的収入

(単位：千円 (消費税込) ・ %)

区分	令和4年度		令和3年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	増減率
第1款 下水道事業収益	2,911,134	100.0	3,027,234	100.0	-116,100	-3.8
第1項 営業収益	1,359,769	46.7	1,375,856	45.4	-16,087	-1.2
第2項 営業外収益	1,551,365	53.3	1,651,378	54.6	-100,013	-6.1

#### 収益的支出

(単位：千円 (消費税込) ・ %)

区分	令和4年度		令和3年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	増減率
第1款 下水道事業費用	2,337,959	100.0	2,360,201	100.0	-22,242	-0.9
第1項 営業費用	2,155,598	92.2	2,131,558	90.3	24,040	1.1
第2項 営業外費用	182,354	7.8	228,577	9.7	-46,223	-20.2
第3項 特別損失	7	0.0	66	0.0	-59	-89.4
第4項 予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0

収益的収入については、営業収益は下水道使用料の減の影響で**2千万円**の減、営業外収益は一般会計の基準外繰入金及び長期前受金戻入の減の影響で**1億円**の減となっています。

収益的支出については、営業費用は不明水対策事業及び相模川流域下水道維持管理負担金の増の影響で**2千万円**の増、営業外費用は支払利息及び消費税の減の影響で**5千万円**の減となっています。

### (2) 資本的収入及び支出

#### 資本的収入

(単位：千円 (消費税込) ・ %)

区分	令和4年度		令和3年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	増減率
第1款 資本的収入 (A)	1,139,303	100.0	1,102,692	100.0	36,611	3.3
第1項 企業債	476,700	41.7	285,100	25.8	191,600	67.2
第2項 他会計出資金	35,250	3.1	31,498	2.9	3,752	11.9
第3項 他会計補助金	268,930	23.6	323,703	29.4	-54,773	-16.9
第4項 他会計負担金	48,447	4.3	57,088	5.2	-8,641	-15.1
第5項 国庫補助金	307,082	27.0	403,945	36.6	-96,863	-24.0
第6項 負担金等	2,894	0.3	1,358	0.1	1,536	113.1

#### 資本的支出

(単位：千円 (消費税込) ・ %)

区分	令和4年度		令和3年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	増減率
第1款 資本的支出 (B)	2,082,101	100.0	2,261,902	100.0	-179,801	-7.9
第1項 建設改良費	812,046	39.0	901,149	39.8	-89,103	-9.9
第2項 企業債償還金	1,270,055	61.0	1,360,753	60.2	-90,698	-6.7

(B) - (A) 不足額	942,798	-	1,159,210	-	-216,412	-18.7
---------------	---------	---	-----------	---	----------	-------

資本的収入**11億4千万円**は、建設改良事業に充てる企業債や国庫補助金、一般会計出資金及び企業債元金償還に充てる一般会計補助金、一般会計負担金で構成されています。

資本的支出**20億8千万円**は、建設改良事業に要した費用及び企業債の元金償還金で構成されています。

企業債残高の減少により、企業債償還金額は年々減少しています。

## 2 損益計算書の概要

(1年間の経営成績)

(単位：千円(消費税抜)、%)				
	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
A 営業収益 (下水道使用料等)	1,242,564	1,256,666	△ 14,102	-1.1
B 営業費用 (維持管理費、減価償却費等)	2,091,489	2,075,386	16,103	0.8
C 営業利益もしくは損失 (A - B、損失の場合△)	△ 848,925	△ 818,720	△ 30,205	3.7
D 営業外収益 (長期前受金戻入等)	1,551,362	1,651,362	△ 100,000	-6.1
(うち、基準外繰入金)	598,226	653,022	△ 54,796	-8.4
E 営業外費用 (支払利息等)	158,976	191,759	△ 32,783	-17.1
F 経常利益もしくは損失 (C + D - E、損失の場合△)	543,461	640,883	△ 97,422	-15.2
(基準外繰入金を除いた場合)	△ 54,765	△ 12,139	△ 42,626	351.1
G 特別利益	—	—	—	—
H 特別損失	△ 7	△ 60	53	-88.3
当期純利益 (F + G - H、損失の場合△)	543,454	640,823	△ 97,369	-15.2

営業収益**12億4千万円**から営業費用**20億9千万円**を控除した結果、営業損失は**8億5千万円**となりました。

営業損失に営業外収益**15億5千万円**を加え営業外費用**1億6千万円**を控除した結果、経常利益は**5億4千万円**となり、前年度より**1億円**の減少となりました。経常利益から特別損失を控除した結果、当期純利益は**5億4千万円**となっており、前年度より**1億円**の減少となりました。

なお、経常利益を計上していますが、下水道使用料で賄うことができなかった経費を基準外繰入金(一般会計補助金) **5億9千万円**により補填している状況にあり、経常利益から基準外繰入金を除いた場合は**5千万円**の損失となっております。

## 3 補填財源

### 資本的収入・支出

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

<b>【不足額】 9億4千万円</b> <b>【補填財源】</b> ・当年度未処分利益剰余金 5億円 ・当年度分損益勘定留保資金 4億1千万円 ・その他 3千万円	<b>【資本的支出】</b> <b>20億8千万円</b> 建設改良費 8億1千万円 企業債償還金 12億7千万円
<b>【資本的収入】</b> <b>11億4千万円</b>	

資本的収入が資本的支出に不足する額**9億4千万円**は、損益計算書において計上した当期純利益**5億4千万円**から生じた利益剰余金の取り崩し額や、費用・損失のうち現金支出の伴わない減価償却費から生じる損益勘定留保資金**4億1千万円**等で補填しています。

## 4 経営成績に関する指標

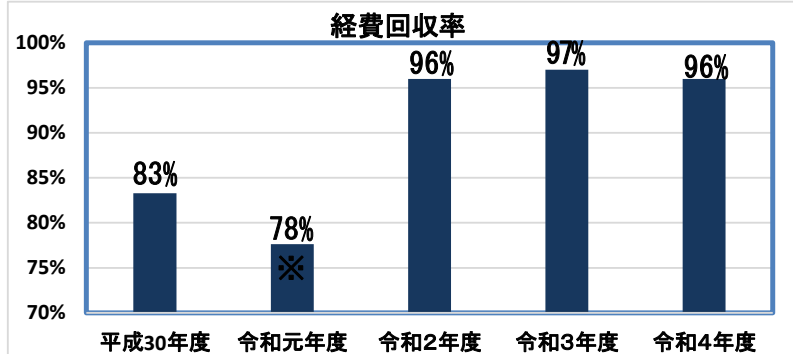
### 経費回収率

下水道使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表します。

【下水道使用料÷汚水処理費】

類似団体平均値 (令和3年度)
91%

令和3年度		令和4年度
97%	-1% (↘)	96%



今期の経費回収率は、下水道使用料収入の減少により昨年度比**1ポイント**減となり**96%**となっております。下水道使用料で賄うべき汚水処理費が回収できていない状況にあります。

中長期的な視点では、汚水処理費の削減や適正な下水道使用料の確保等の経営改善を進め、下水道施設の更新に必要な資金確保に取り組む必要があります。

※ 令和元年度の経費回収率は**78%**となっておりますが、地方公営企業法適用に伴う打切決算の影響により、分母の汚水処理費の減少よりも分子の下水道使用料の減少（2か月分）が上回ったことにより、例年と比べて低い数値となっております。

## 5 貸借対照表

(決算日時点のストックの状況)

貸借対照表  
(令和5年3月31日時点)

有形固定資産 土地、建物、構築物等	固定資産 338億1千万円	企業債
無形固定資産 施設利用権等		固定負債 71億4千万円
投資その他の資産 出資金	流動負債 19億3千万円	1年以内償還企業債、 未払金、賞与引当金他
現金預金、未収金		繰延収益 214億8千万円
	流動資産 5億8千万円	長期前受金
		資本金、資本剰余金、 利益剰余金
		資本金、剰余金 38億4千万円

貸借対照表の内訳としては、資産のうち**98%**は固定資産により構成されています。

一方、負債は、固定資産取得時の財源である繰延収益が**62%**、企業債（1年以内償還含む）が**24%**を占めています。

企業債残高については、償還が進んでいるため年々減少しております。

資産のうち、固定資産**338億1千万円**は、主に有形固定資産である下水道管きよ、終末処理場施設及び下水道用地で構成され、流動資産**5億8千万円**は、現金預金及び未収金で構成されています。

負債のうち、固定負債**71億4千万円**は、令和6年度以降に償還予定の企業債、流動負債**19億3千万円**は、主に令和5年度中に償還予定の企業債や工事・委託の未払金、繰延収益**214億8千万円**は、償却資産の財源である長期前受金から構成されています。

また、資本金、剰余金については、資本金**2億4千万円**、資本剰余金**18億円**及び利益剰余金**18億円**により構成されています。

## 6 当年度の主な建設改良事業

### (1) 建設工事の概況

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	契約年月日	竣工年月日
綾瀬終末処理場消化施設等整備事業設計・建設工事 (深谷南5丁目地内)	汚泥濃縮減容化設備設計・工事、脱水乾燥設備設計・工事	383,900,000	令和3年 11月19日	令和5年 3月31日
令和4年度第47処理分区枝線整備工事 (吉岡地内)	污水管整備 工事延長221.5m	72,125,900	令和4年 10月12日	令和5年 3月25日

### (2) 改良工事の概況

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	契約年月日	竣工年月日
令和2年度綾瀬市公共下水道根幹的施設の建設工事委託 (深谷南5丁目地内)	汚水ポンプ設備更新工事、汚泥脱臭設備更新工事	228,000,000	令和3年 3月31日	令和5年 3月31日

## 7 整備状況

項 目	単 位	4年度末 (R5年4月1日現在)	3年度末 (R4年4月1日現在)
①全体計画処理面積	h a	1,743	1,743
②事業認可処理面積	h a	1,155	1,155
③整備面積	h a	1,102.1	1,101.8
下水道認可整備率③÷②	%	95.4	95.4
④整備人口	人	79,481	79,572
⑤住民基本台帳人口	人	84,241	84,351
行政人口普及率④÷⑤	%	94.3	94.3
⑥市街化区域内整備人口	人	78,300	78,400
⑦市街化区域内人口	人	78,559	78,649
市街化区域内人口普及率⑥÷⑦	%	99.7	99.7